

第2回安曇野市環境審議会 会議概要

1	会議名	第2回安曇野市環境審議会
2	日時	令和元年7月10日(水)午後2時00分から午後3時15分まで
3	会場	本庁舎 会議室301
4	出席者	環境審議会 浅川行雄 会長、植松晃岳 副会長、佐々木俊之 委員 樋口嘉一 委員、藤澤昇 委員、横田耕太郎 委員、口村孝 委員 二條久男 委員、酒井文雄 委員、猪又悟 委員、岡江正 委員 江澤二郎 委員、降旗幸子 委員、飯沼千賀子 委員、井上和行 委員 堀井三郎 委員
5	市側出席者	安曇野市 市民生活部 宮澤部長、環境課 深澤課長、 環境課 環境保全担当 百瀬係長、環境政策係 藤森係長、土屋主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0名
8	会議概要作成年月日	令和元年7月19日

協 議 事 項 等

【進行表】

1. 開会
2. 委嘱書交付
3. 会長挨拶
4. 報告事項
 - (1) 平成30年度環境基本計画 年次報告書について
 - (2) その他
5. 閉会

【議事】

報告事項(1) 平成30年度環境基本計画 年次報告書について

<環境課から説明>

<質疑>

(委員) 資料11ページ、No. 6の目標①にかかる取り組みについて、目標未達成の要因と今後どのように取り組んでいくのかをお聞きしたい。

(環境課) 要因を端的に分析することは難しいが、景気の影響やごみの分別が不十分で資源化が進まないことが要因の一つと考えている。事業者の一般廃棄物の受け入れ等によりごみの分別収集の間口を広げる工夫は進めているが、PR不足な点があった。

(委員) 取り組みの継続により新たな方策が見つかることもあると思う。また、目標がこの値でよいのかも含めて検討願います。

(部長) 事業者に分別を要請したが、徹底が不十分であった。今後は食品ロスの件も含めて周知・啓発を進めていきたい。

(委員) 目標の達成状況に応じ、審議会の評価もEとすべき。

(委員) 資料1ページの“(以下「個別計画」という)”の文言について、以降に記載がない

ため、削除してよいのではないか。

(環境課) 確認し、必要ないようであれば削除します。

(委員) 資料2ページの行動計画に関する説明文について、4ページ同様に27のプログラムを選定したことを記述した方が分かりやすいのではないか。

(委員) 資料12ページ、No. 7のごみ分別アプリについて、自身のごみ排出量の確認やごみを減らすアイデアを紹介するようなものに発展させることを検討いただきたい。

(部長) 技術的に可能かどうかを含め検討させていただきます。

(委員) 資料12ページの“著しく増加しない。”という表現は、日本語として適当でないため修正願います。

(委員) 資料21ページ、No. 16、特に目標②の薬剤散布による松枯れ防除については、松枯れへの対策と生物多様性の保護という両立の難しい二面性を有するもので評価ができない。計画に基づく松枯れ対策の実施を否定するものではないが、次の5か年計画立案の際には生物多様性に配慮し、両者を関連付けて評価できるような計画を作れるよう問題提起はしておきたい。

(部長) 審議会意見の欄に、生物多様性への配慮・連携といった文言を入れることは可能かと思うがいかがでしょうか。

(会長) これまでの審議会で徹底的に意見を交わしたことはないが、委員から要望があれば議題とする機会をもってもよいと思います。

(委員) 審議会としてどう考えているか、意見は持っておいた方がよいと思います。

(副会長) たとえ5か年計画の途中であっても、良いものはよい、悪いものはわるいと言ってよい。環境審議会としての意見・見解を出すことを、審議会意見の欄に記述してもよいと思う。市として前向きに検討していただきたい。

(委員) 本件については、環境面では景観のことも絡みますが、一番は治山・治水の問題だと考えます。もし土砂崩れでも起きれば大問題です。樹種転換に絡んで景観条例とも関連しますが、安全・安心につながる治山・治水と景観とを同レベルで考えるのは難しいことです。まずは治山・治水、次にどういった手立てができるかが審議会での課題と考えます。

(委員) 西日本の事例をみれば、松枯れを防ぐことはおそらく無理であり、それにお金を注ぎ込んでいる状況です。この地域の松はそれなりの価値があると聞くので、活用できる松は売れるうちに売るべきだが、駄目になってから処理している状況がある。林業の取り組みを見直し、資源活用するうえで今後の樹林をどうしていくかを考える必要があると思います。

(委員) 森林組合では、用材の販売や不要な部分はチップ化して肥料するなどして樹種転換を進めています。所有者負担のみでは難しく、県・市の補助金の活用や木の売り上げも組み込み、計画にそって実施していますが、被害の拡大に追いつかない状況です。現在は穂高地域を中心に被害を上を広げないような作業を実施しています。

(会長) 審議会で1回しっかりと議論できる機会をお願いしたい。

(委員) 資料30ページ、No. 25について、審議会の意見が未記載であるが、昨年度末開催の審議会で意見がなかったということか。

(環境課) 人為的な地下水涵養施策が進展しない理由を記載してほしい旨のご意見をいただいたが、今回水利権に関する記述を課題の欄に追記したため削除した。今回ご意見がなければ、他の箇所同様“・なし”の記述を追加します。

(副会長) PDCAシートのデザインが青・黒で構成されていて若干見づらいため、例えば右上の取り組み名の欄の背景に色をつけるなどのデザイン処理により見やすくしていただけるとありがたい。

<年次報告書にかかる審議会の評価>

No. 6 目標①、評価なし→Eに変更

No. 7 目標①、A→Bに変更

No. 12 目標①、C→Aに変更

NO. 12 目標②、D→Bに変更

報告事項(2) その他

<環境課から講座情報等紹介>

<質疑> なし

(午後3時15分 議事終了 閉会)